

調乳要領

2023.08.01 更新

1. 調乳の実施

受託業者は、病棟より届いている調乳伝票で、ミルクの種類・数量・混合割合及び空瓶と乳首の数量等を確認し、午前 9 時 00 分までに調乳伝票より指示されたミルクに関係する一式を依頼のあった病棟に届けるものとする。また、使用済みの瓶・乳首等の回収も行う。

2. ミルク

- ・ 洗浄後、熱風消毒保管庫で乾燥させた器具を使用し、調乳水製造機のお湯を使用して、ミルクを作成する。
- ・ 洗浄後、熱風消毒保管庫で乾燥させた 500ml のバイアル瓶に滅菌ガーゼで漉したミルクを分注し、終末蒸気殺菌機にて適切（【終末】中心温度 72℃ 15 秒）に終末殺菌を行う。（熱に弱いものは除く。）
- ・ バイアル瓶には、ミルクの種類が分かるように、種類を記入した白いビニールテープを貼付する。

3. 追加ミルク

- ・ 500ml 以上の追加オーダ締め切りは、当日 13 時 30 分までとし、その都度、調乳し配膳する。（500ml 以下および 13 時 30 分以降の追加は病棟にて調乳する。）
- ・ 病棟で使用する粉ミルクは、スティックタイプとし、10 本/1 箱単位で病棟に渡し、伝票に「追加 1 箱」と記載する。
- ・ 請求は 1000ml とする。

4. 哺乳瓶、バイアル瓶

- ・ 空瓶は洗瓶機で洗浄し、熱風消毒保管庫で乾燥させる。（設定温度 180℃60 分）
- ・ 哺乳瓶は、新生児用（160ml 母乳相談室）、NICU 用（160ml 母乳相談室）、乳児用（200ml）、に分け、専用カストに入れる。
- ・ 哺乳瓶の追加の最終締め切り時刻は 15 時とし、16 時に病棟に届ける。（瓶の滅菌から終了まで 3 時間かかり、高温の状態で終了になるため）
- ・ 当日使用済みの哺乳瓶を回収して洗浄・消毒・乾燥後に届ける場合は、12 時までに病棟から連絡をもらう。

5. 乳首・キャップ・おしゃぶり

- ・ 使用済みの乳首、キャップ等は洗浄後、洗ったカストにそれぞれ入れ、終末蒸気殺菌機にて適切（【消毒】95℃ 10 分）に消毒を行い、乾燥後冷蔵庫にて保管する。
- ・ カストには、乳首とキャップの個数を記入したものを貼付する。
- ・ 口蓋裂用の乳首・キャップ・フードは無いため、患者に用意してもらう。

6. 配膳・下膳

- ・ 調乳伝票により指示されたミルク、ミルクに関する一式を配乳車に入れ配膳する。
- ・ 使用済みの哺乳瓶を回収するためのバケツも配膳する。
- ・ 使用済み哺乳瓶・乳首・キャップ・バケツを回収し下膳を行う。

※ 夕食の食札回収時に食札ケースの中の翌日分の調乳伝票を回収してくる。

7. 他病棟へのミルクの配膳について
 - ・ 開始と終了は病棟より電話で連絡をもらう。